

(1) 指導目標 『自然の愛護、豊かな心、畏敬の念』（項目D－「自然愛護」）

(2) 使用教材

- ・東京書籍 『明日をひらく』③より  
〔3年生の教材であるが、国語科教員への相談により1年生でも十分内容が理解できると判断して使用した。  
ただ、教材が長いので一部省略した。〕
- ・AV資料 NHKプロジェクトX 第31回「よみがえれ、日本海」～ナホトカ号重油流出・30万人の奇跡～
- ・重油(学校との取引先より入手)
- ・写真(土星・火星・月・地球の写真 ひしゃくで重油をすくう様子 重油で被害を受けた海鳥)

(3) 基本指導案

	指導内容と主な発問	予想される生徒の反応や留意点
導入	<p>◆土星・火星・月・地球の写真を生徒に見せて、その違いとその理由を発問する。</p> <p>◆今日の授業の目的を説明する。 (「海を守った人々」についての学習)</p>	<p>・地球は他の惑星に比べて青い。</p> <p>・「海」が太陽の光を受けて「青く」見える (「惑星の写真」の提示)。</p>
展開	<p>◆読み物資料(Ⅰ)の配付。映像ビデオの視聴。 〔自分が磨かれる発問〕 ○三国町を救うためにはあなたはどのようにしますか？</p>	<p>・「重油で被害を受けた海鳥」の写真の提示。</p> <p>・生徒から「重油をすくいに行く」「ボランティア」などの意見が出ると思うが、その意見を揺り動かすために、重油の提示や冬の日本海のような(海水に入っている作業、海水温度)などを話す。 〔生徒の体験談(冬の海)の活用〕</p>
	<p>◆読み物資料(Ⅱ)の配付。 ○実際にどのようなようになったかを確認する 〔心を使って考えさせる、自分が磨かれる発問〕 ○なぜ30万人ものボランティアたちが三国町に来たのだろうか。また、ボランティアたちはどのような気持ちで重油をすくったのだろうか。</p>	<p>・当時の三国町の人口が約2万人であったことを紹介する。</p> <p>・「ひしゃくで重油をすくう様子」の写真の提示</p>
まとめ	<p>◆道徳記録カードに記入する。</p> <p>◆一部の生徒の「道徳記録カードに記入された内容」を音読し、意見・感想の共有化を図る。</p>	<p>・しっかり聞ける雰囲気をつくる。</p>

(4) 付記

三浦は周りが海に囲まれている。この教材は海洋教育の教材としても有用かと思われる。